

教育委員会だより

第2号

益田市教育委員会へ 平成25年7月17日発行

地域の人と一緒にいろいろ体験したよ！



吉田：バームクーヘンづくり



益田：カレーづくり



西益田：鮎の放流



安田：飛行機づくり



真砂：笹団子づくり



吉田南：ソーメン流し

益田市教育委員長として

教育委員長 中島 匡博

この度、益田市教育委員長の向上に繋がると考えています。また、多職種の人と人との繋がりは、子どもをめぐ

る様々な問題について、大きな力となると感じています。学校・家庭・地域が連携し、子ども・教育の問題に関り、継続していくことが重要で

す。益田市には、長い歴史の中で伝えられてきた文化遺産が数多く存在します。地域の伝統文化に対して理解をより深め、後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの大切な役目だと考えております。微力ですが、力を尽くしてまいりたいと考えております。

身の引き締まる思いです。急速に進む情報化社会、地域の繋がりの希薄化、核家族化、便利で快適な生活様式等、子どもを取り巻く環境は、子どもの育ちに決してよいとは言えない状況です。不登校、いじめ、虐待、メディア依存、睡眠不足等の生活リズムの乱れ、生活習慣病、喫煙等子どもに関する様々な問題点が指摘されています。小児科医としての日々の診療や学校医としての活動の中で、新聞・ニュースで取り上げられる子どもの問題が、地域でも生じていることを感じます。

目次

表紙(活動紹介)	1 P
教育委員長寄稿	2、3 P
教育情報	2、3 P
カラフル給食タイム	4 P
寄付、寄贈のお礼	

発見！驚き！ふるさと再発見・見学バスの旅

「平成25年度ふるさと益田見学バスツアー」がスタートしました。本事業によって、今まで知らなかったふるさとのごとをより多く知ること、ふるさとへの愛着をより高めてほしいと願っています。

この取組みにおける児童の様子を今年度も紹介していきます。

匹見小学校

匹見小学校は毎年、裏匹見峡のレストパーク周辺で「クリーン匹見峡」という活動を行っています。学年別に外部から講師の方を招いて森林や植物に関するお話を聞いたり、縦割り班に分かれて炊飯場やトイレの掃除を行ったりします。今年度は児童会主催のオリエンテーリングも新しい試みとして取り入れました。

当日は、森の中や川のほとりでしっかりと匹見の自然を体感できました。また、汗を流して公園中を掃除する姿を見て、

レストパークの職員さんから感謝の言葉もいただき、匹見小でしかできない活動を体験できました。



匹見小学校全児童

鎌手小学校

6月6日、わたしたち4年生は、医光寺と三宅御土居と中須遺跡を回って、萩・石見空港に行きました。

歴史で一番心に残った場所は、医光寺です。今日は、門しか見られなかったけれど、今度は本堂や庭も見たいです。それから、七尾城にも行ってみたいです。

空港では、はじめ、風の丘公園で東京から来る飛行機の着陸を見ました。次に、バスポートをもらって、ふだん入れないところに入れてもらい、近く

で飛行機が飛び立つのを見ました。飛行機は約70トンもあってびっくりしました。それから、車を見たり、空港の消防車を見たりしました。空港には飛行機に関係するものがたくさんあって、いろいろ準備がしてあるんだなあと思いました。とても楽しかったし、空港のことがたくさんわかってよかったです。



鎌手小学校4年生

学校再編について

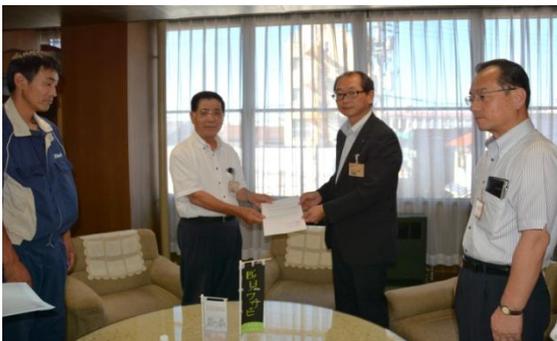
7月9日、美濃地区学校再編対策協議会から益田市へ、美濃小学校を平成26年3月31日付で廃止し、平成26年4月1日から中西小学校へ統合することの同意書が提出されました。

●これまでの経緯

- ・平成22年11月22日 「美濃地区学校再編対策協議会」を設置。同協議会、保護者会、地区説明会等、協議・検討を重ねる。
- ・平成24年12月25日 美濃地区学校再編対策協議会が市教育委員会に対し、「美濃小学校及び西南中学校の再編に関する意見書」を提出。

・平成25年7月2日 市教育委員会が美濃地区学校再編対策協議会の意見書に対し回答。

・平成25年7月9日 美濃地区学校再編対策協議会会長から益田市に対し、美濃小学校を中西小学校へ統合することの同意書が提出される。



美濃地区学校再編対策協議会会長と副市長（中央）

益田市教育協働化推進事業も3年目になりました。昨年度の実績は、市内全体で活動日数2713日、ボランティア実人数1403人(一昨年度比1.2倍)、のべ人数14551人(一昨年度比1.6倍)といずれも増えていきます。

今後も本事業の拡充にご協力よろしく願います。

さて、本事業にあわせ、放課後支援と家庭教育支援の融合に取り組んでいるところですが、家庭教育支援として『親学プログラム』があります。



これは、島根県立東部・西部社会教育研修センターが開発したもので、就学前の乳幼児から中学生の親を対象に、親としての役割や子どもとの関わり

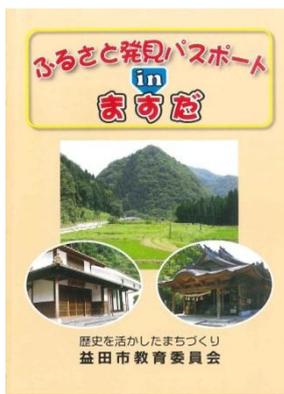
方の気づきを促すための学習プログラムで、「親としての心構え」「親子のコミュニケーション」「生活リズム」「しつけとルール」「安全と健康」「遊びと体験」「個性と夢」の7つのテーマで構成され、進行役は研修を受けた親学ファシリテーターが務めます。



学校に保護者が集まる時(学級懇談、地区懇談会等)や、保育所、幼稚園、社会教育施設等で開催されている行事等、様々な場や機会で見学されています。

今年度から、親学ファシリテーターの派遣を行っています。親学プログラムについては、市民学習課へお問合せください。

早いものでもうすぐ一学期が終わり、子どもたちは待ちに待った夏休みを迎えます。手のひらサイズの『ふるさと発見パスポートinますだ』を片手に、益田市の文化財めぐりに出かけてみませんか。



『ふるさと発見パスポートinますだ』

益田市は、四季おりおりの美しい自然に囲まれ、多くの史跡や文化財が残されている町です。

『ふるさと発見パスポートinますだ』は、平成8年に市内の全小中学生に配布したのを始まりに、以降毎年4月に新1年生に配布しています。

パスポートには、益田市内の代表的な文化財が写真付で30ヶ所紹介されています。見開きの「私のあしあと」に訪問日や感想などを書けるほか、スタンプを押したり、スケッチしたりすることもできます。



いくつか行ったことがあるか数えてみると、身近にあるながら、意外に行ったことのない文化財も見つかるのではないのでしょうか。

有料の文化施設を見学する場合、入口でこのパスポートを提示すると、無料になる特典(企画展は除く)もあります。

また、4ページ目に掲載されている得点表に、見学した文化財を色塗りすることができま。

文化財にはそれぞれ点数がついており、国指定文化財は80点、県指定文化財は50点、市指定文化財は30点です。

すべて行って合計1580点になったパスポートを、学校の先生を通じて益田市教育委員会へ提出すると、賞状が授与されます。

得点表(4ページ)

*得点表 (行ったところに色をぬりましょう)					
① 80点 興光寺	② 30点 津	③ 80点 天石	④ 80点 万福寺	⑤ 80点 本堂	①-⑤の合計
⑥ 80点 興土屋	⑦ 30点 七地城	⑧ 30点 藤田	⑨ 80点 資料館	⑩ 30点 南門跡	⑥-⑩の合計
⑪ 80点 新金剛	⑫ 30点 東山	⑬ 30点 小丸山	⑭ 80点 新王寺	⑮ 50点 スタマ	⑪-⑮の合計
⑯ 50点 藤本寺	⑰ 30点 戸田	⑱ 30点 藤山城	⑲ 30点 高橋田	⑳ 50点 西東屋	⑯-⑳の合計
㉑ 50点 大元寺	㉒ 50点 藤ノ鼻	㉓ 30点 塚山	㉔ 30点 金谷	㉕ 30点 新金剛	㉑-㉕の合計
㉖ 50点 双川城	㉗ 50点 新橋	㉘ 30点 東濃	㉙ 30点 小松	㉚ 30点 石ノ坪	㉖-㉚の合計
①-⑳すべて行くとなんと1580点 あなほは 点					

食育月間の取組み

日本型食生活に立ち返ろう

このところ日本型食生活が注目を集めています。学校給食には早くからこの考え方が取り入れられてきました。文部科学省の学校給食実施基準等でも、学校給食における食品構成に関しては伝統的な食生活の伝承と併せて日本型食生活の実践に

★6月14日の献立

ごはん、牛乳、五目煮豆腐、
豆腐ときのこの澄まし汁
子持ちししやも（小1、中2）



献立作成 福代 愛

日本型食生活の実践

も十分配慮する事とされています。益田市学校給食共同調理場でも、日本型食生活の実践を具体化するために、和食主体の献立提供の機会を増やしながら、児童・生徒の関心を高められるよう献立作成に留意しています。

また、毎年6月は内閣府等により「食育月間」とされ、食育をより推進していく月として位置付けられています。

このことから、6月14日に提供した献立では、食育という観点を意識しながら児童・生徒に日本型食生活を体感できるようにしました。

様々な意図を献立に込めて

日本型食生活の特徴は栄養バランスに優れている点です。6月14日の献立でもその点を踏まえ、それぞれの食材を使用するうえでの意図を明確にし、栄養価面を勘案しながら、バランスよく組み合わせました。

「子持ちししやも」は口腔

機能の発達を促すと共に、牛乳と合わせると多くのカルシウムを摂取することができます。学期に十分なカルシウムを摂取する事は骨の形成に大きく影響し、骨折や骨粗鬆症を予防すると言われています。

「五目煮豆腐」はひじきや昆布などの食物繊維を多く含む食材に加えて大豆、グリーンピースといった豆類をふんだんに取り入れました。

「豆腐ときのこの澄まし汁」は、かつお節と昆布の2つの材料を使用し、「合わせだし」にしました。だしは食材の美味しさを引き出し、きのこの旨味を一層際立たせます。更にこのような取り合わせにすることで、箸の使い方や学ぶ機会を増やすといった狙いもあります。児童・生徒が日々の生活においても日本型食生活を意識できるように、学校給食の献立を通して食育に取り組みしていきます。

寄贈、寄付のお礼

小学校へ図書寄贈

- ・あけぼの本町 伊藤 義照 様
- ・中国電力株式会社 益田営業所 様

小中学校へ物品寄贈

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部 様

学校図書購入費へ寄付

- ・益田あけぼのライオンズクラブ 様

益田市奨学金へ寄付

- ・匿名希望 様（2名）



伊藤義照様



益田あけぼのライオンズクラブ様